

第135回 知的コミュニティ基盤研究センター研究談話会

# データ工学的アプローチによる Linked Open Data 活用の取り組み

Data engineering approaches for utilizing Linked Open Data

講演者 天笠 俊之 氏 (筑波大学 計算科学研究センター 准教授)

データを公開するための手段としてLinked Open Data (LOD) が注目され、数多くの政府、企業、組織がデータをRDF形式で出版している。一方、その利用にはデータや、スキーマ、言語などの学習が必要であり、利用に対する障壁は高いといえる。

本講演では、LOD活用のための取り組みとして、

- 1) LODに対するOLAPフレームワーク
- 2) LODに対するJSONビューを利用した問合せ
- 3) LODに対するキーワード検索

を紹介する。

**参加費無料、参加申し込み不要。**

学生、教員、一般、学内外を問わず、  
どなたでもご自由にご参加下さい。

主催: 筑波大学知的コミュニティ基盤研究センター  
<http://www.kc.tsukuba.ac.jp/index.html>

お問い合わせ:

メール [kc-office@ml.cc.tsukuba.ac.jp](mailto:kc-office@ml.cc.tsukuba.ac.jp)

電話 029-859-1524 (学内: 内線81524)



日時

2016年7月22日(金)

13:00 - 14:00

会場

筑波大学 筑波キャンパス

春日エリア 情報メディアユニオン

3階 共同研究会議室1

